

秋田市国際交流・多文化共生に関する基本方針(原案)への意見(パブリックコメント、市民100人会)

	原案の意見箇所	意見の要旨	意見に対する市の考え方	意見提出者
1	全体	秋田市の国際交流・多文化共生施策においては、交流事業に加え、介護・医療・防災など、生活に直結する分野での支援を基本方針に明確に位置づけることが重要です。特に介護・医療では、制度が複雑で外国人市民が支援にアクセスしにくい現状があります。やさしい日本語や多言語による情報提供、気軽に相談できる体制づくりは、外国人市民はもちろん、地域全体にも有益だと考えます。防災では、日頃から災害時の行動や避難情報を分かりやすく伝えることが欠かせません。外国人市民も参加できる防災訓練や継続的な周知活動を通じて、地域全体の防災力を高めていくべきです。外国人市民を「支援の対象」とするだけでなく、「共に地域を支える一員」と捉える視点を、今後の基本方針にぜひ反映させてください。	外国人住民が地域の一員として安心して暮らすことができるよう、市の施策を理解しやすく、より利用していただくため、やさしい日本語や多言語での制度周知に努めてまいります。	100人会会員 (メール本文)
2	全体	国際交流は大変良い事だと思います。秋田市のような田舎町でも外国人を見かける事多くなりました。竿燈祭りになると様々な国から観光客が訪れて楽しんでいるようです。自分の勉強も兼ねて外国人と話す事がありますが、ネットで竿燈祭りを知って見に来たという方が圧倒的に多いです。残念ながら秋田市には竿燈祭りしかないのHPや観光課をフル活用して大いに広告宣伝して欲しいと思います。思い切った事や振り切った事は役所が最も嫌がる話でしょうが、くまモンのようなキャラを必死に売り出した熊本を参考にして立ち上がらないと秋田市の立地からして人が寄ってくるというのは難しいのではないのでしょうか。田舎を逆手に取るか歴史を売り物にするか…方法は様々ですが「人が集まらない」と国際交流は苦しいです。「知ってもらい・来てもらう」を狙って竿燈祭り以外でも知られる秋田市を目指して欲しいです。多文化共生というのは最近流行っている言葉ですが、最終的にどこを目指しているのかハッキリさせないと伝わりにくいです。「何でもかんでも」ではなく、互いにメリットが発生する方向に持って行かなくてはならないのではないのでしょうか。日本は寺・神社をはじめ水や石ころにも神様がいる多神教の国なので、外国人が入り込むというのは非常にハードルが高いです。単に日本語を教えるだけでなく、文化や歴史も併せて理解してもらわないといけないので専門性の高い日本人が必要になるでしょう。	いただいたご意見を庁内関係課と共有し、参考とさせていただきます。	100人会会員 (メール本文)
3	【5ページ】 4 国際的な経済交流の推進	姉妹都市交流が黎明期を脱し、特に両市の信頼関係が構築されているドイツや米国との”交易”に関し標準を定め、具体策を例示することが望ましい。その際、秋田県との連携に基づく情報共有化により、秋田市産品に加え全ての県特産品を対象品目とする旨、理念に加えることが肝要と考える。	いただいたご意見を庁内関係課と共有し、参考とさせていただきます。	パブリックコメント (提出用紙)
4	【9～17ページ】 第4章 基本理念と主要施策	全体的に具体策が不明瞭と感じます。施策に対しての結果をまとめる際には定量的な評価が必要です。その部分が無いのでは、施策の展望が見えません。これらの施策はPDCAサイクルを回す必要があり、そのための数値目標が無いので評価の判断が難しくなると感じます。すべての原因は、具体的な目標が不明瞭であることが要因ではないでしょうか？例えば、『国際理解を促進する機会を提供します。』この文章を、国際理解を促進する機会として、市民交流会を〇回実施します。その際、開催内容に関するアンケートを御願ひし、重要な改善点を〇個以上着目し対応する。などがあると思います。	各施策については、担当課において定量的な目標を設定するなど、管理・評価を行っていきます。	100人会会員 (提出用紙)
5	【11ページ】 3 3つの基本理念 [基本理念1 世界に広がるパートナーシップの推進]	具体的取り組みが示されていますが、平和意識の醸成などあまりにも間口を広げすぎていて全体の活動の焦点が定まっていなと感じます。これまでの取り組みで理念や基本方針は十分に理解されているのではないのでしょうか。	国際交流の目的の1つとして、友好交流や国際理解を推進した上で、「平和意識の醸成」に繋げていくことが重要と考えており、方針の1つとして掲げ、関連事業を実施しています。	100人会会員 (メール本文)
6	”	秋田市として本当にやりたいこと何ですか？幅広くやるだけでは中途半端で魅力がありません。予算と人を集中して注目されなければ、政策を実行することの自己満足だけで市民の認知や理解には程遠いです。	これまでの青少年交流や研修員の受入れなどに加え、若者を海外へ派遣し国際的な視野を持った人材育成の推進を図ります。	100人会会員 (メール本文)
7	”	人口減少が切実な問題となる中で、如何に秋田県の魅力を維持・発展・発信するにはきっかけづくりとなる「青少年交流の促進」と定住促進のための「就労環境に関する支援」に集中すべきで、各地で成功している事例の早期取り入れと人材を招致することに特化させるべきだと感じます。	いただいたご意見を庁内関係課と共有し、参考とさせていただきます。	100人会会員 (メール本文)
8	”	技能実習制度のような外国人を奴隷のように扱う差別的な政策にならないよう、イコールパートナーとして市民の意識を変革するため、ありきたりな政策を止めてドメスティックな改革を求めます。	外国人住民を「支援の対象」という視点ではなく、「共生するパートナー」であるという意識を持ちながら、各施策に取り組んでまいります。	100人会会員 (メール本文)
9	【11ページ】 3 3つの基本理念 [基本理念1 世界に広がるパートナーシップの推進] 方針1 友好交流の推進	友好・姉妹都市提携について、中国に友好都市が蘭州市と南寧市がありますが、中国との交流はリスクが大きいのではないのでしょうか。元々何か事があるたびに中国政府からいろいろと嫌がらせを受けることがあり、国際交流やビジネスの世界ではリスクの大きい国として見られています。せつかく提携したものをやめることは簡単なことではなく、提携解消は難しいと思いますので提携解消を望むものではありません。現状のままでよいと思います。私自身中国や台湾などで幾度となく仕事を経験したことから、どちらかという台湾と友好関係を築ける都市を探したほうがメリットがあると思います。以前には、秋田市も台湾の台南市と交流協力に関する合意を結んだこともあるようで、市長が台南市を訪問したりしていることなどもあり発展的に友好都市として格上げの検討やほかの台湾の友好関係を築くことができる都市を探してはいかがでしょうか。秋田市としても、台湾での商談や貿易取引の開拓先として台北などにたびたび商談を展開していることや現在限定的ですが、秋田空港から台湾との直行便があることも有効と考えます。	台南市とは、令和6年10月に「秋田市と台南市との交流協力に関する合意書」を締結し、観光・文化・スポーツの分野で交流をしています。今後も引き続き合意書に基づいた交流を継続しながら、両市の良好な交流関係を築いていきます。	100人会会員 (提出用紙)
10	【11ページ】 3 3つの基本理念 [基本理念1 世界に広がるパートナーシップの推進] 方針1 友好交流の推進 主要施策(1)友好・姉妹都市等との交流の推進	「また、これまで友好・姉妹都市等と交流を続けてきた市民団体のほか…」について、青少年分野の交流がさらなる姉妹都市交流の発展に資することは自明の理。例えば、国際教養大学には例年、ドイツ、米国、中国他からの交換留学生が多数在籍していることに鑑みて、秋田市在住の高校・大学生等との交流機会拡大を、有為の人材を育成するための将来的投資として、「友好・姉妹都市等との交流の推進」施策に取り入れる。さらに、秋田市―バサウ市姉妹都市交流の実績を踏まえ、秋田公立美術大学と国立バサウ大学とのアカデミックな大学間交流の推進を、実施可能な将来施策具体例として記述するよう希望。	いただいたご意見を庁内関係課と共有し、参考とさせていただきます。	パブリックコメント (提出用紙)
11	【14ページ】 [基本理念2 地域に根ざした多文化共生の推進]	相互理解は必要かもしれませんが、外国人が暮らしやすいとか必要以上に寄せる事が、逆に日本人が暮らしにくくなり我慢を強いられるようでは本末転倒ではないのでしょうか。日本の文化や法律・社会のルール等を享受して受け入れさせることが最重要と考えます。今のヨーロッパ諸国を見ても移民の数が過度になると侵略されている現状をどう評価しておられるのですか？特にイスラム教徒をよく理解出来ない中で受け入れるのは危険性が高いのではないですか。その国の法律よりも、イスラム法典が優先される原理主義者を見分けられますか。行政はそこまで責任を持ったうえで判断すべきです。犯罪などが間違いなく増加しますが、その責任はどなたが負われるのか明確にすべきですし、責任を取れるはずありません。一步踏みとどまるのも政策でないのでしょうか。	外国人の受入れは、人材不足の解消に寄与する一方で、文化や生活習慣などが多様化し、言語や制度の違いによる生活上の課題も生じていることは認識しています。今後は、誰もが安心して暮らせる社会を実現するため、多文化共生の視点を持ち、外国人も同じ住民であるという意識がますます重要となってくるものと考えます。	100人会会員 (提出用紙)
12	【15ページ】 (8)外国語図書の充実	図書館のボランティアの書架整理に行くようになり、レモンの会という会があり、目の不自由な方々に読み聞かせをしてくれる事を知りました。とても良い会だと思いますがあまり知られていないようなので残念です。外国の方が英語の得意な方に絵本だと文章も短かいし絵もあり、親しみやすいので、英語や日本語で絵本を読んでもらえる機会があったら、秋田の昔話や秋田の歴史、土崎空襲の絵本(はまなすはみた)等、秋田に関心を持ってもらえるのではないかと思います。少しでも外国の方と触れ合い交流する機会があれば多文化共生の気持ちを育む事が出来るのではないかと思います。	いただいたご意見を庁内関係課と共有し、参考とさせていただきます。	パブリックコメント (提出用紙)
13	【17ページ】 [基本理念3 市民との連携による国際交流の推進]	国際教養大学に来る留学生との交流の場を増やせないものかと思っています。一部雄和地区にお住いの方々には交流があるようですが、それ以外の地区の市民との交流はあまりないように感じます。クルーズ船や台湾直行便、その他の団体旅行や個人旅行で来る観光客は短期間の滞在客です。国際教養大学の留学生は短期留学の方もいるでしょうがたいがいは複数年秋田で生活する方たちです。留学生は、毎年世界から多数の方々秋田に来ます。これらの方々を秋田のファンにする努力をするべきです。また、国際教養大学と秋田市中心部へのアクセスのための公共交通機関がとても不便と聞いています。教養大の学生を秋田市中心部へ誘導するためにも公共交通機関やそれに代わる交通手段を確保することは非常に重要かと思っています。また、秋田市内の市民と留学生の交流のための「市民里親制度」(仮称)を創設してはどうでしょうか。外国からくる留学生に一般家庭での生活を体験してもらうとともに秋田のファンづくりになればと思います。ただし、10年ほど前に仕事で知り合った台北の学生さんは国際教養大学へ留学経験があり、以降時々秋田に来るときは、私の家と留学時代の里親だった仙北市の方の家と両方に泊まりますので、すでに教養大学に里親紹介制度のようなものがあるかもしれません。いずれ、毎年必ず世界からやってくる国際教養大学の留学生は貴重な存在だと思いますので、ぜひ彼らが秋田を好きになり、秋田を離れても秋田と何かしら交流を続け、そして秋田をPRしてくれる存在に育ってくればありがたいことです。	いただいたご意見を庁内関係課と共有し、参考とさせていただきます。	100人会会員 (提出用紙)